

かっぱ通信

2012年7月7日

vol. 94

梅雨明け
まだかな
号

発行 北川かっぱの会

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

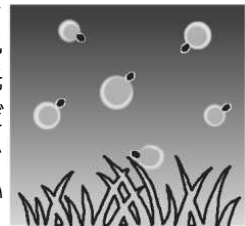
予告 8/5 (日) 第17回 北山わんぱく夏まつり



ホタルを見る前に「多摩湖緑地」で、ホタルの生息環境を勉強する子供たち

『初めてふれたホタル！』

6月23日(土)「北山北川わんぱく講座」で、狭山公園にホタルを見に行きました。光が弱いのか強いのか数匹のホタルがいました。突然、一匹のホタルが私の方に飛んできました。私はその時初めてホタルにふれました。15mm位の小さなホタルを、私はつぶさないようにそっと優しくつつむようにさわりました。成虫になったホタルが生きていられるのは7~10日だそうで、かわいそうだからすぐに逃がしてあげました。ホタルが光るのは、結婚相手を見つけたためだそうで、オスがだすプロポーズの光にメスがやさしい光で答えると聞いて、ステキだと思いました。ホタルのことが少しわかって良かったです。もっとホタルのことが知りたいと思いました。北山小 4年 金子千姫(かねこちひろ)



狭山公園で行ったホタル観察会。天候のせいなのでしょうが、今年は非常に少ない発生でした。様々な生き物の連鎖で生息しているの、何か見えない環境の変化があったのでしょうか。絶滅が心配です。

予告 8/5(日)第17回 北山わんぱく夏まつり

今年も「北山わんぱく夏まつり」の季節がやってきました。子供たちとともに、楽しい夏の日をすごしましょう。サポーターも含め、多くの方の参加をお待ちしています。

10時～16時 (雨天中止；中止時は「かっぱブログ」に掲載)

主会場 北山公園親水広場周辺

サブ会場 八国山たいけんの里、八国山

遊びメニュー カヌー体験、北川ウォーク+魚とり、ザリガニ釣り、八国山虫とりハイク、北川水族館、草笛、紙芝居 (八国山たいけんの里)；縄文火起こし (開催調整中)、弓矢体験、昆虫標本展示、八国山おりがみ、他

出店：飲み物他



準備日程

7/21(土) 16:30～18:00 夏まつり実行委員会(MARU茫々亭)

7/28(土) 9:00～ 北川の堰き止め作業

今年はボランティアにより実施のため、ご協力お願いします！

8/4(土) 13時～ 準備作業(北山公園他)

テント・椅子・テーブルの搬入、ザリガニ釣りの竹竿製作、カヌー会場の整備、立て看板の製作、印刷作業他

紙芝居オジサン
が今年もやってくるよ。



サポーター多数募集

性別、年齢、経験不問。ホームページからメールでご連絡ください。

なお、夏まつり関係の最新情報は、かっぱブログで入手してください。



川端会議で「北川ルール」の議論はじまる

北川かっぱの会では北川に清流を取り戻していくためにブラックバスやオオフサモの駆除、川そうじなど様々な活動に取り組んでいます。しかし、北川の現状は多くの外来生物が見られ、ゴミが一向に減らないなど、清流を取り戻していくためには更なる取り組みが必要と思われます。

北川かっぱの会では、北川を在来生物が生息しやすい環境としていくために、またゴミがなく子どもが楽しく遊ぶことのできる場所としていくために5月12日開催の川端会議（北山公園整備計画意見交換会）の場で「北川ルール」の提案を行いました。「北川ルール」ではペットの放流やエサやり、ゴミ投棄の禁止、生き物の採取や犬の散歩についてのルール、川の草刈りの方法について提案を行っています。また北川への新たな魚道の設置、流域の水循環や雑木林の保全など北川の整備の方向性についても提案を行っています。

次回9月1日の川端会議では内容について意見交換を行い、議論の輪を広げていきたいと考えています（「北川ルール」案については、5月16日付けのかっぱブログをご覧ください）。皆様からのご意見をお待ちしております。

—2012年 7月～9月

定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

7/14,8/11,9/8(土) 集合：北山小正門前

東村山市みどりの楽校「探検講座」

8/4(土) 17～20:30 八国山緑地周辺で「虫とりナイトハイク」（夜間昆虫採集）を予定。詳細は市報(7/15 版)をご覧ください。

「川端会議」

9/1(土) 10～12時 ふるさと歴史館。北山公園周辺の環境整備について、市、市民、市民団体の話合いの場。どなたでも参加できます。

今回は提案している「北川ルール」について意見交換を行います。

—活動スケジュール—

—小学校土曜講座—

北山小・八国山虫とりハイク

7/14(土) 午前 5:00～7:30

北山小正門前集合、雨天中止

北山小・北川魚とりと水底生物観察

9/15(土) 10:30～12:30 北山小正門前集合

富士見・南台小トンボとりと北川の魚

9/15(土) 10:30～北山公園

北山小・トンボとりとヤゴいかだづくり

10/6(土) 9:00～11:30 北山小

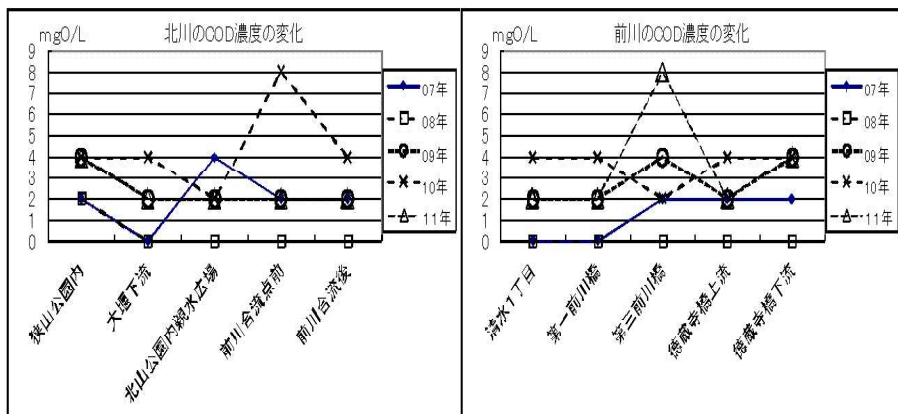
かっぱ定例会

9/15(土) 16-18 時 (MARU 茫々亭) 10月～12月頃の活動予定を中心に検討します。

報告 全国の川・一斉調査に参加

6月3日(日)、「全国の川・一斉調査」に参加しました。当日は薄曇りの中、8名で、北川かっぱの会が担当する北川5か所、前川5か所の合計10ヶ所の水質等を調査しました。当日は、3グループに分かれ、定点観測点10ヶ所の水温や流れ幅、水深、流速の計測を行い、水采取了しました。また、観測地点の水底生物についても採取しました。その後、採取した水を公民館に持ち寄り、パックテストでCOD濃度やpH(酸性度)、亜硝酸濃度、アンモニウム濃度の分析を行うとともに、電気伝導度と透視度の測定も行いました。以下、主な結果について記します。

- ① きれいな水の見込みとして透視度が100cm以上というのがありますが、北川の大堰から下流で数値が低い傾向にありました。
 - ② COD濃度は水中の有機物含有量の見込みとなります。きれいな水の見込みとしてCOD濃度が2ppm以下というのがありますが、北川では例年と大きな差はなく、2ないし4ppmとなっていました。過去3年間、狭山公園内の結果が4ppmと安定した傾向にありましたが、今年は2ppmと以前の水準に戻ってきました。
 - ③ 水底生物については、例年見られるものに加え、アメリカツノゾウムシやフロリダマミズヨコエビなど、外来種が見られました。例年同様、少し汚れた水に生息する水底生物が主体となっています。
- なお、詳細な測定結果については、6月16日付けのかっぱブログをご覧ください。

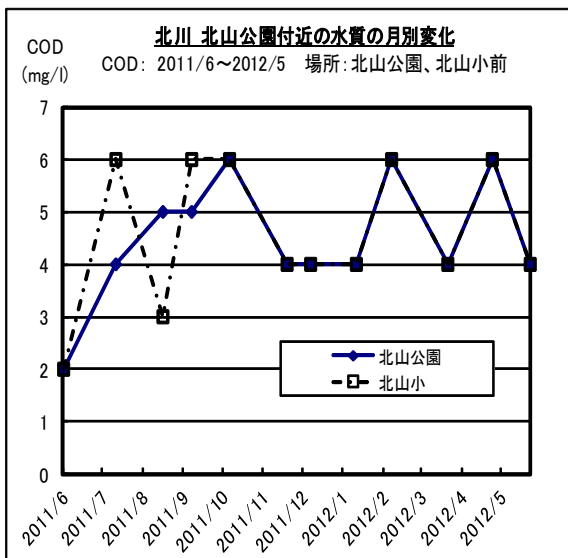


報告 北川の水質調査 月変化

毎年恒例の全国調査とは別に北川の年間を通しての水質変化を測定してみました。昨年6月からの1年分についての結果を報告します。

結果：①CODは年間を通して4～6mg/lで少し汚れた水質である。

②亜硝酸態窒素、硝酸態窒素の値は夏頃、高い値（汚れている）を示す傾向がみられた。年間を通してやや汚染があることを示す値である。③水質の大きな季節変化は少なく、少し汚れた水質を示していた。（岡田）



「八国山・北山公園の生き物観察ガイド」が読売新聞の記事で紹介されました

6月22日付の読売新聞・多摩版の記事で、「八国山・北山公園の生き物観察ガイド」が紹介されました。「八国山緑地周辺ではブラックバスやウシガエル、ガビチョウなど「特定外来生物」が増えており、在来生物を食べたり生息環境を奪ったりして、生態系のバランスを崩す恐れがあること、環境省のレッドデータブックに記載された生き物も生息しており、絶滅が心配されていること」、「北川かっぱの会が「はっちこっくメイト自然部会」に協力を呼びかけガイドを作成したこと」、「八国山の保全を市民一人ひとりに考えてもらいたいこと」などの内容が掲載されました。

多摩版

2012年(平成24年)6月22日(金曜日)

読売新聞

「八国山の保全を市民一人ひとりに考えてもらいたい」と話す清水さん(左)と金田一さん(右)

八国山緑地の観察手引
140種の動植物写真で紹介

市民団体林作成

「はっちこっくメイト自然部会」が作成した「八国山・北山公園の生き物観察ガイド」が、読売新聞の多摩版に掲載された。ガイドは、環境省のレッドデータブックに記載された生き物も生息しており、絶滅が心配されていること、在来生物を食べたり生息環境を奪ったりして、生態系のバランスを崩す恐れがあること、環境省のレッドデータブックに記載された生き物も生息しており、絶滅が心配されていること、北川かっぱの会が「はっちこっくメイト自然部会」に協力を呼びかけガイドを作成したこと、八国山の保全を市民一人ひとりに考えてもらいたいことなどの内容が掲載された。

第17回 北山わんぱく 夏まつり

8月5日(日)
10時～16時
雨天中止

at 北山公園(主会場)

カヌー体験、北川ウオーク
カヌー、ザリガニ釣り
+ 魚とり、草笛、紙芝居
北山水族館、
出店
八国山虫と川ハイク 他



主催：第17回北山わんぱく夏まつり実行委員会

後援：東村山市・東村山市教育委員会・国土交通省荒川下流事務所

柳瀬川流域ネットワーク・新河岸川流域川づくり連絡会

東村山市みどりの楽校・北川かつばの会

連絡先：北川かつばの会のホームページ

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>

今年も鮎が



柳瀬川、金山公園下にて

今年も、北川の下流部の柳瀬川に無数の鮎が遡上してきました。例年の数倍かと思われる程の多くの鮎が元気に遡上してきています。去年もここで記事にしましたが、今年も多くのご近所釣り師達がサンダル履きで鮎釣りを楽しんでいます。

今年の春先に、去年の原発事故による放射能汚染が、関東近県の河川の魚が方々で判明し大きな問題になりました。その汚染の広がりには関東地区では、栃木県、茨城県、群馬県の一部河川で検出され、今年春の溪流釣りの解禁の開始判断に大きな影響が出ました。結局、釣っても魚を食べない事を条件に溪流釣りを許可した河川もありました。幸い、今年の春の調査では、荒川水系の鮎には放射能が未検出で影響はありませんでした。ほっと一安心です。鮎の他の遡上種の、マルタウグイ、ボラ、モクズカニなどはどうだったのでしょうか？我々はこれだけの放射能汚染を今まで経験した事はありません。今後、川の生き物達にもどのような影響がでるのか心配です。

今年も自転車にのってサンダル履いて鮎釣りに行ってきました。近所でこんな楽しみを味わえる事に幸せを感じます！この幸せがずっとずっと続きますように。祈（中谷）

報告 第34回春の北川グリーンアップ

5月20日(日)クリーンアップを実施いたしました。当日は、爽やかな快晴に恵まれました。今回も、将陣場橋、大関橋、宅部遺跡橋、水道橋4箇所に分かれて実施いたしました。

今回も近隣の自治会の方々に参加していただきました。また、クリーンアップの横断幕を見て中学生の男子2名が参加してくれました。今後も北川のクリーンアップに関心を持って継続して参加してもらいたいものです。「しょうちゃん池」の下流に位置するので、水が絶えず流れ込んでいるので水量は豊富でした。

前川との合流地点では、今回は大きなゴミはありませんでした。北山公園までの間に、落差工は三か所ほどあります。特に保生橋の落差工の水深が1m強あります。今後、魚道を検討して行く中で大きなポイントになると感じました。

北山公園までの間は、大きな粗大ゴミもありませんでした。また、「オオフサモ」の定着も確認されませんでした。大きな粗大ごみ?として、善行橋の深場に隠れていたブラックバス(約30センチ)が捕獲されました。「しょうちゃん池」に生息していたのが、大雨で北川に流されたものと考えられます。

今回も、全コース順調に作業が行われ、また事故もなく無事終了いたしました。皆さんお疲れ様でした。



北山小前に集合した参加のみなさん

報告「八国山・北山公園の生き物観察ガイド」完成記念観察会

4月28日(土)、「八国山・北山公園の生き物観察ガイド」完成記念の観察会を開催しました。観察ガイド執筆者の解説を聞きながら、12名が八国山と北山公園をゆっくりと歩きました。樹木ではオトコヨウゾメ、ヤマツツジ、、草花ではキンラン、シュンラン、北山公園ではレンゲ、ナズナ、、キノコではキクラゲ、、昆虫ではゴマダラチョウ幼虫、、鳥類ではアオゲラ、メジロ、特定外来生物のガビチョウ、、またシュレーゲルアマガエル、ニホンアマガエルなどの鳴き声も楽しむことができました。

同日夜は「茫々亭」で完成記念祝賀会を開催しました。市内の土曜講座で



講師をしている人同士の交流、土曜講座の企画内容の充実化、次の出版物の企画の話、自然の中での楽しい体験談など、夜遅くまで懇談が続きました。参加された皆様方、どうもありがとうございました。このガイドの発行や懇親会を契機として、八国山や北山公園、多摩湖緑地、狭山公園などの自然の保全が一層進んでいくことを願わずにはられません。

在来生物の楽園

東北駐在員からの初レポートは、日本にまだこんな所があったのかという驚きのレポートです。

先日、山形県は最上地方のある地域に行ってきました。そこで目にしたのは、あちこちにあるため池とその下流側に連なる谷戸の田んぼという昔懐かしい風景です。そして何よりも驚いたのは、その地域には外来生物が全く見られなかったことです。

北川やその周辺はウシガエル、ブラックバス、ガビチョウ、アメリカザリガニとすっかり外来生物に侵略されているのは周知の通りです。ここではそれらの外来生物がいないため、今でも我が国固有の在来生物の楽園となっているのです。ツチガエルやトノサマガエル他数種類のカエルが、最近こんなにたくさんのカエルを見たことがないというほどいました。これらが食う食われるという食物連鎖の一部を担っている訳ですから、生態系全体の生物量は大変豊かなものと想像できます。生物多様性の一つの理想形を見た思いです。

東村山がこのような姿に戻ることはもはや不可能ですが、少しでもこのような在来生物の楽園に近づけることができればと願うばかりです。(ピー永島)



ため池の希少種オオトラフンボ

報告 北山小 ヤゴ救出作戦



5/26 今年のヤゴ救出作戦は好天に恵まれての開催となりました。今年は桜の開花が遅かったように生物カレンダーが十日ほど遅れているようでヤゴが育っているか心配でした。しかし、心配無用で 30 ~ 50mm 位の大きなギンヤンマがプールのなかからたくさん見つかりました。アカネ系は小さく 15mm 位と例年の 2/3 位の大きさで探すの苦勞しました。

約 2 時間の救出作戦で約 500 頭のヤゴを救出することになりました。

各自 2 頭程度のヤゴを持ち帰り、3 年生が教室で飼う分を残し、北山公園の池や水路に元気に羽化できるよう祈り放ちました。

●参加者：保護者 10 名、子ども 20 名、かっぱ会員他 11 名、教員 2 名●
採取結果ギンヤンマ 354 頭（体長 30 ~ 40mm）、アカトンボ類 152 頭（体長 10 ~ 15mm） 合計 506 頭（前年比 107%）

報告 富士見・南台小+北山小 「落合川に行こう」

6 月 30 日、富士見・南台小の土曜講座「水の不思議探検隊」、「自然と遊ぼう」、北山小の「北川わんぱく講座」の 4、5 年生合同で落合川へ行ってきました。晴天の中、こども 21 人、大人 10 数人の参加です。案内は東久留米・川クラブの荒井さん、小松原さんをお願いしました。

落合川は日量 1 万トンの湧水の川、水草がきれいです。ところがそこにも外来種が入っているとか、まずはその除草体験です。

続いて源泉である南沢湧水群に向かいました。水はますます冷たくなります。湧水群で泉からどんな風に水がしみ出てくるか観察しました。

魚取り、ゴムボート遊び、川泳ぎ、、冷たい川水でしたがミズガキになったあっという間の 1 日でした。（遊星歯車）



インフォメーション

「八国山・北山公園の生き物 観察ガイド」 入手方法

「観察ガイド」は8/5開催の「北山わんぱく夏まつり（北山公園）」や毎月第1・第3土曜日（10:00～、13:30～）開催のガイドウォーク（八国山たいけんの里）で配布しています。

観察ガイドの送付を希望される場合には、角型6号（23×16cm）以上の封筒（返信先を記入し120円切手を貼付したもの）を同封し、〒189-0026東村山市多摩湖町1-37-16北川かっぱの会・清水淳あて送付してください。

北川かっぱの会 会議日程

定例会 9月15日（土）16～18時
MARU 茫々亭 10月～12月頃までの
活動予定を中心に検討します。

●編集後記

土曜講座がはじまり例年通りなかなか忙しいです。でも、毎年の行事のなかから昆虫や魚など生き物の増減から自然の変化が数として見えてくるのはおもしろいです。それにしても北川の水質はなかなか改善されませんね。となりの落合川の清流につかってしみじみときれいな大量の湧水があればと思いました。水は自然のうるおいの基本の基です。（遊星歯車）

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方（参加、入退会自由）を広く募集しております。

●会費 年間3000円

「かっぱ通信」（年5回）をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

上記へ現金書留または

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店（普）
3605694〕



加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料390円

『北川流域マップー未来の川へー』

北山公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

●発行 北川かっぱの会 東村山市野口町 TEL 042-395-7705 渡辺